



SDGs 達成に向けた取組み

地域課題を循環経済で解消



目的・背景

令和4年9月9日首相官邸において、政府の食料安定供給・農林水産業基盤強化本部が開催されました。スマート農林水産業の推進、農林水産物・食品の輸出促進などの方策検討、推進が目的で、岸田文雄首相は化学肥料の高騰に対応するため、下水汚泥堆肥化の利用拡大を指示されました。令和5年6月には農林水産省において国内肥料資源の利用拡大プロジェクトが開始され、当社は下水汚泥の肥料化割合向上を目指し、東予4市1町様のご支援を賜りながら官民一体となって取り組んでおります。

具体的な取組内容

令和6年4月より、東予3市1町様より下水汚泥等の受入を開始しました。
 令和6年6月には、CO₂ 排出削減のため新電力を導入しました。
 令和6年7月より、近隣自治体様へ有機質肥料「coeru」の販売を開始しました。
 令和6年8月より、中予の1市様からも脱水汚泥の受入を開始しました。
 令和6年8月30日、あいテレビ様「なぞマチ!？」で当社の取組みが取り上げられました。
 令和6年10月、処理量拡大に向け、自動攪拌機「ターンコンボ」2号機を導入しました。
 令和6年11月、生産量増大に向け、造粒設備を増設しました。
 令和6年12月、菌体リン酸肥料の登録を申請しました。(11月15日大臣確認済・愛媛県へ登録申請)
 令和7年1月、菌体リン酸肥料の愛媛県での登録が完了しました。

地域の廃棄物を受け入れ、それらを原料として発酵熟成させ完成した有機質肥料「coeru」を地域に還流することは、地域の資源と経済を循環させることであり、かつ、化学肥料や農薬を用いた慣行栽培から脱却し、安心・安全な有機質肥料「coeru」をお使いいただくことは、土壌や水質の改善、CO₂ 排出削減にもつながります。

成果

- ①東予地域の下水汚泥の肥料化率が令和5年度の7%から令和6年度は43%に拡大の見込みです。
- ②循環を支える持続的な「仕組み」の構築ができました。

令和5年度には全体の36%が埋め立て処分されていた愛媛県東予地域の下水汚泥を、令和6年度には肥料化43%、建設資材40%とその割合を変化させ資源として再生し、埋立処分される割合を17%まで削減させる見込みです。また、自治体様にとってはそれまで廃棄されていた下水汚泥を資源として再生でき、かつ処分費の削減も図れ、農業生産者様は安心・安全な有機質肥料を低コストで使用でき、かつ地域の土壌や水質の改善にもつながり、消費者様は安心・安全で栄養価の高い食物が手に入る。まさに三方よしの循環を構築することができました。

循環経済 3: 下水汚泥の循環サイクル



循環経済 8: 愛媛県東予地域の下水汚泥肥料化



地域循環共生圏 8: 循環を支える持続的『仕組み』



担当者の思い

当社は「地域課題解消業」を標榜しております。地域の「廃棄物」「資源」「環境改善」「循環経済」等々、諸問題を解消に導く安心・安全な有機質肥料「coeru」を自信をもって地域のみなさまにご提供でき、またお客様より「おいしい作物がたくさんできた」などのうれしいお言葉もたくさんいただいております。当社が志向する「地域のために会社はあり、会社は地域とともに栄える」の志の下、今後も循環経済に貢献してまいります。
 〈参与 小林 榮充・総務 萩森 ゆかり〉

